





サービス種別	実際の提供量	提供可能な量
サ) 就労継続支援 (A型)	( ) 人日	( ) 人日
シ) 就労継続支援 (B型)	( ) 人日	( ) 人日
ス) 療養介護	( ) 人日	( ) 人日
セ) 短期入所	( ) 人日	( ) 人日
ソ) 施設入所支援	( ) 人	( ) 人
タ) 共同生活援助 (グループホーム)	( ) 人	( ) 人
チ) 自立生活援助	( ) 人	( ) 人
ツ) 特定相談支援	( ) 人	( ) 人
テ) 地域移行支援	( ) 人	( ) 人
ト) 地域定着支援	( ) 人	( ) 人
ナ) 移動支援	( ) 人	( ) 人
二) 障害児相談支援	( ) 時間	( ) 時間
ヌ) 児童発達支援	( ) 人日	( ) 人日
ネ) 医療型児童発達支援	( ) 人日	( ) 人日
ノ) 放課後等デイサービス	( ) 人日	( ) 人日
ハ) 保育所等訪問支援	( ) 人日	( ) 人日

問9 貴事業所で、サービスを提供する上で課題となっていることについて、あてはまるものに○をつけてください。(○は3つまで)

- |   |
|---|
| 1 量的に、利用者の希望どおり提供できていない<br>2 質的に、利用者の希望どおり提供できていない<br>3 契約やサービス内容についての説明が十分できていない<br>4 利用者や家族とのコミュニケーションが難しい<br>5 困難事例への対応が難しい<br>6 休日や夜間の対応が難しい<br>7 変更やキャンセルが多い<br>8 苦情やトラブルが多い<br>9 国の基準では人員が足りない<br>10 その他 ( )<br>11 特にない |
|---|

問 10 貴事業所では、サービス利用について、利用者やご家族の方から、どのような相談や苦情を受けることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 利用できるサービスがわかりにくい | 2 利用日などが希望どおりにならない |
| 3 利用できる時間数が少ない     | 4 サービスの質がよくない      |
| 5 利用したいサービスが活用できない | 6 利用者負担が大きい        |
| 7 職員間の申し送りが不十分     | 8 区役所などでの手続きが大変    |
| 9 その他 ( )          | 10 特にない            |

問 11 貴事業所では、スタッフの質の向上など人材を育成するために、どのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                        |
|------------------------|
| 1 法人内で、研修会を開催している      |
| 2 外部の研修会に、スタッフを参加させている |
| 3 ケース会議等でスキルアップを図っている  |
| 4 他の事業所と交流している         |
| 5 その他 ( )              |

問 12 (1) 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(2) また、今後どのような取組を行っていこうと考えていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

項目	(1) 現在 行っている 取組	(2) 今後 行いたい 取組
ア) サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成	1	2
イ) 事故防止のため、ヒヤリハット事例の収集・共有	1	2
ウ) 利用者や家族に対する、満足度調査の実施	1	2
エ) 積極的に外部評価を受ける ( I S O、第三者評価)	1	2
オ) 事業所の管理者が、直接、サービス提供状況を確認・指導	1	2
カ) その他 ( )	1	2
キ) 特に行っていない	1	2

問 13 貴事業所が、障害福祉サービス等の質の向上を図っていく上で、今後、支援を拡充したいと思う分野はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| 1 身体障害の人への支援         | 2 知的障害の人への支援 |
| 3 精神障害の人への支援         | 4 発達障害の人への支援 |
| 5 高次脳機能障害の人への支援      | 6 難病の人への支援   |
| 7 障害のある（難病含む）子どもへの支援 |              |

問 14 貴事業所が、障害福祉サービス等の質の向上を図っていく上で、今後、知識やスキルを拡充したいと思う分野について、あてはまるものに○をつけてください。（○は3つまで）

- |                              |                                |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1 障害・難病についての基礎知識（障害等の概要、制度等） |                                |
| 2 障害のある人（難病含む）とのコミュニケーションスキル |                                |
| 3 保護者（子どもの場合）・家族支援についてのスキル   |                                |
| 4 重度の肢体不自由の人への支援スキル          |                                |
| 5 中途障害の人への支援スキル              | 6 食事・入浴等の支援スキル                 |
| 7 家事等の支援スキル                  | 8 外出時（移動）の支援スキル                |
| 9 発達支援についての基礎知識              | 10 その他（                      ） |

### 3 事業所運営について

問 15 介護保険サービスの指定を受けている事業所におたずねします。貴事業所の提供する「障害福祉サービス」および「介護保険サービス」について、力の入れ方でもっとも近いものはどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                            |
|----------------------------|
| 1 両方のサービスとも主である            |
| 2 どちらかというと、障害福祉サービスの方が主である |
| 3 どちらかというと、介護保険サービスの方が主である |

問 16 介護保険サービスの指定を受けている事業所におたずねします。貴事業所の収入（売り上げベース）を見た場合、障害福祉サービスと介護保険サービスの割合について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                        |
|------------------------|
| 1 両方のサービスとも同じくらいの収入である |
| 2 障害福祉サービスの収入の方が大きい    |
| 3 介護保険サービスの収入の方が大きい    |

問 17 貴事業所を経営していく上での課題について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1 スタッフの確保               | 2 スタッフの待遇改善     |
| 3 スタッフの資質向上             | 4 施設・設備の改善      |
| 5 利用者・家族とのコミュニケーションの取り方 |                 |
| 6 制度改正などへの対応            |                 |
| 7 事務作業量の軽減              | 8 収益の確保、運転資金の調達 |
| 9 他の事業者との連携             | 10 行政との連携       |
| 11 医療機関との連携             | 12 地域の理解        |
| 13 その他 ( )              | 14 特に課題はない      |

問 18 貴事業所では、人材を確保するために、どのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 1 人材募集の専門の折込チラシに掲載した     |                    |
| 2 インターネットの求人サイトを利用した     |                    |
| 3 口コミで探している              | 4 ハローワークなどを通じて募集した |
| 5 インターネットに広告を掲載した        | 6 福祉専門学校等で求人を行った   |
| 7 ボランティアを受け入れた           | 8 賃金の改善を行った        |
| 9 福利厚生を充実した              | 10 資格取得の支援を行った     |
| 11 柔軟な勤務形態（短時間就労など）を導入した |                    |
| 12 実習生や研修生を受入れた          | 13 その他 ( )         |

問 19 区では福祉サービス事業所での福祉人材を確保・定着につなげるため、次の補助金事業等を実施しています。活用したもの、今後検討するものすべてに○をつけてください。

- |   |  |
|---|--|
| 1 障害福祉サービス事業者・介護事業者採用活動費補助金                     |  |
| 2 障害者向け訪問系サービス事業所支援補助金<br>(ヘルパー補助者の人件費、資格取得費補助) |  |
| 3 介護福祉資格取得及び研修受講の費用助成                           |  |
| 4 その他 ( )                                       |  |

問 20 職員数は充足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |             |          |            |
|-------------|----------|------------|
| 1 非常に不足している | 2 不足している | 3 やや不足している |
| 4 十分である     | 5 わからない  |            |

問 20 で 1～3 に ○ をつけた事業所にうかがいます。

問 20-1 その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1 離職率が高い（定着率が低い）     | 2 採用が困難        |
| 3 事業を拡大したいが人材が確保できない | 4 事務業務等が増加している |
| 5 その他（               | ）              |

問 20 で 1～3 に ○ をつけた事業所にうかがいます。

問 20-2 職員が不足しているのは、どの職種ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                           |             |
|---------------------------|-------------|
| 1 管理者                     | 2 サービス管理責任者 |
| 3 児童発達支援管理責任者             | 4 相談支援専門員   |
| 5 生活支援員・職業指導員・就労支援員・児童支援員 |             |
| 6 居宅介護職員等のヘルパー            | 7 調理師・栄養士   |
| 8 医師・看護師                  | 9 事務職員      |
| 10 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士      |             |
| 11 その他（                   | ）           |

問 21 貴事業所の今年度の収支状況（見込み）について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                 |
|-----------------|
| 1 「黒字」を見込んでいる   |
| 2 「収支均衡」を見込んでいる |
| 3 「赤字」を見込んでいる   |

問 22 貴事業所の今年度の収支状況と、昨年同時期の収支状況を比較して、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                         |
|-------------------------|
| 1 前年度よりは黒字              |
| 2 前年度と比較して横ばい           |
| 3 前年度よりは赤字              |
| 4 わからない（前年度は事業を実施していない） |

問 23 貴事業所の収支の向上や改善についてのお考えにもっとも近いもの1つに○をつけてください。

- |   |                            |
|---|----------------------------|
| 1 | 現在の事業の拡大もしくは新規事業展開を図っていく   |
| 2 | 現在の事業体制を維持しつつ、業務効率化等を図っていく |
| 3 | 現在の事業の縮小を図っていく             |
| 4 | その他 ( )                    |
| 5 | 特に考えはない                    |

問 24 次のサービスのうち、貴事業所において、今後3年間（令和10年度まで）に事業拡大または新規参入のお考えがあるものはどれですか。現段階でご検討されているものすべてに○をつけてください。

- |    |                    |    |            |
|----|--------------------|----|------------|
| 1  | 居宅介護（ホームヘルプ）       | 2  | 重度訪問介護     |
| 3  | 同行援護               | 4  | 行動援護       |
| 5  | 重度障害者等包括支援         | 6  | 生活介護       |
| 7  | 自立訓練（機能訓練）         | 8  | 自立訓練（生活訓練） |
| 9  | 就労移行支援             | 10 | 就労定着支援     |
| 11 | 就労選択支援             | 12 | 就労継続支援（A型） |
| 13 | 就労継続支援（B型）         | 14 | 療養介護       |
| 15 | 短期入所               | 16 | 施設入所支援     |
| 17 | 共同生活援助（グループホーム）    | 18 | 自立生活援助     |
| 19 | 特定相談支援             | 20 | 地域移行支援     |
| 21 | 地域定着支援             | 22 | 移動支援       |
| 23 | 障害児相談支援            | 24 | 児童発達支援     |
| 25 | 医療型児童発達支援          | 26 | 放課後等デイサービス |
| 27 | 保育所等訪問支援           |    |            |
| 28 | その他 ( )            |    |            |
| 29 | 事業拡大または新規参入は考えていない |    |            |

問 25 新規サービスに参入又は事業拡大する上で、課題となることは何ですか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。（実際に事業の拡大・新規参入の予定がない場合でも、想定の上でお答えください。）

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1 | 障害・難病に対応できるスタッフの育成、確保     |
| 2 | 新規サービスのノウハウ獲得             |
| 3 | 参入のための資金調達、新たな施設や事業所などの確保 |
| 4 | 収益性の確保                    |
| 5 | その他 ( )                   |

問 26 障害福祉サービス等への事業者の新規参入又は事業拡大を促進するため、区としては、どのようなことに取り組んでいくことが必要だと思いますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1 障害者総合支援法や給付費に関する情報を提供する    |
| 2 サービスの利用者数など、今後の見込みに関する情報提供 |
| 3 困難事例・問題事例に関するケースの情報提供や助言   |
| 4 研修・講座等に関する情報を提供する          |
| 5 その他 ( )                    |

問 27 貴事業所では、どのような業務でICTを活用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1 給付管理業務で活用している     | 2 相談支援業務で活用している    |
| 3 利用者支援・家族支援で活用している | 4 運営管理・労務管理で活用している |
| 5 会議や研修で活用している      | 6 その他 ( )          |

問 28 貴事業所において医療的ケアが必要な方や重度心身障害児（者）、強度行動障害のある方に対して、サービスを提供していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                          |
|--------------------------|
| 1 医療的ケアが必要な方にサービスを提供している |
| 2 重度心身障害児（者）にサービスを提供している |
| 3 強度行動障害のある方にサービスを提供している |
| 4 サービスを提供していない           |

問 28 で1～3のいずれかに○をつけた事業所にうかがいます。

問 28-1 貴事業所において、医療的ケアが必要な方や重度心身障害児（者）、強度行動障害のある方に対して、どのような配慮をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                           |
|---------------------------|
| 1 緊急時に看護師をバックアップする体制      |
| 2 定期的なバイタルチェック            |
| 3 医療機関等との連携               |
| 4 看護師以外の職員への医療的ケア研修の実施    |
| 5 特性に合わせた物理的な環境の整備        |
| 6 わかりやすい言葉等によるコミュニケーション支援 |
| 7 家族への情報提供や相談支援           |
| 8 その他 ( )                 |

問 28 で 4 に ○ をつけた事業所にうかがいます。

問 28-2 貴事業所において、医療的ケアが必要な方や重度心身障害児（者）、強度行動障害のある方に障害福祉サービスを提供するために必要なことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |
|---|
| 1 専門知識・介助技術の習得                              |
| 2 対応できる新規スタッフの雇い入れ                          |
| 3 対応に必要な機器の購入                               |
| 4 対応に必要なスペースの確保・増設                          |
| 5 新規雇い入れや機器を導入するための資金                       |
| 6 他利用者との兼ね合い                                |
| 7 関係機関、相談機関、医療、家族などとの連携体制の確保                |
| 8 その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問 29 区全体をみたときに、不足していると思われるサービスや支援はどのようなものですか。また、それらのサービスや支援が足りていない理由は何だと思われますか。

不足していると感じるサービス・支援	
理由など	

問 30 「共生型サービス」をご存じですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。  
 ※共生型サービスは、障害福祉サービス事業所が、介護保険サービスを提供しやすくする（あるいは介護保険サービス事業所が、障害福祉サービスを提供しやすくする）ことを目的とした指定手続きの特例として、平成 30 年に設けられた制度です。共生型サービスを活用する場合、これまで提供していたサービスと同様の人員配置基準・設備基準によって介護保険サービスの運営が可能となるほか、指定を受ける際の手続きも簡略化されます。

- |                            |
|----------------------------|
| 1 知っており、指定を受けている           |
| 2 知っており、指定を受ける準備を進めている     |
| 3 知っているが、特に指定を受けることは考えていない |
| 4 知らない                     |
| 5 その他（ )                   |

問 31 入所者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 利用者本人のニーズ把握     | 2 重症心身障害者の増加     |
| 3 利用者家族の高齢化       | 4 地域移行支援の認知度     |
| 5 移行後の利用者の収入確保    | 6 移行後の住まいの確保     |
| 7 福祉サービス事業者への引継ぎ  | 8 医療機関との連携       |
| 9 相談支援機関との連携      | 10 移行先の地方自治体との連携 |
| 11 地域における障害への理解促進 | 12 その他（ )        |

問 32 地域生活への移行を進める上で工夫していることについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 本人への動機づけ        | 2 家族とのコミュニケーション |
| 3 相談支援専門員との連携     | 4 医師との連携        |
| 5 地域のボランティアとの連携   | 6 多様な関係機関との調整   |
| 7 地域移行支援の申請のタイミング | 8 その他（ )        |

問 33 貴事業所では虐待防止対策についてどのような取組をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |    |                            |   |
|----|----------------------------|---|
| 1  | 虐待防止責任者（担当者）の設置            |   |
| 2  | 虐待防止委員会の設置                 |   |
| 3  | 虐待防止に係る研修への参加              |   |
| 4  | 事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催      |   |
| 5  | 虐待防止マニュアルの作成               |   |
| 6  | 虐待防止連絡体制の整備                |   |
| 7  | 身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会の設置 |   |
| 8  | 身体拘束等の適正化のための指針の整備         |   |
| 9  | 身体拘束等の適正化のための研修の開催         |   |
| 10 | 職員のメンタルヘルスのための研修を実施        |   |
| 11 | 職員にストレスチェックを実施             |   |
| 12 | その他（                       | ） |
| 13 | 特に取り組んでいない                 |   |

問 34 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |                                       |   |
|---|---------------------------------------|---|
| 1 | 研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している       |   |
| 2 | ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している         |   |
| 3 | 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動を行っている         |   |
| 4 | 他事業所での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている |   |
| 5 | 全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立てている            |   |
| 6 | 気軽に相談ができる窓口を整えている                     |   |
| 7 | その他（                                  | ） |
| 8 | 特に行っていない                              |   |

問 35 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている |
| 2 | 複数人対応を基本としている                           |
| 3 | 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている       |
| 4 | 非常通報機能を有するベルや笛など、周囲に知らせる機器を携行している       |
| 5 | 暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている    |
| 6 | 気軽に相談できる窓口を整えている                        |
| 7 | その他 ( )                                 |
| 8 | 特に行っていない                                |

問 36 貴事業所における利用者の意思決定支援の対応状況について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

項目	1 十分にできている	2 ほとんど実施している	3 あまり実施できていない	4 ほとんど実施できていない
ア) 本人から直接話しを聞いたり、日常生活の様子を観察し、意思や好みの確認	1	2	3	4
イ) 意思決定支援会議への本人の参加	1	2	3	4
ウ) 意思決定支援会議への家族や関係者、成年後見人等の参加	1	2	3	4
エ) 体験中の様子から本人の意思の推定が可能な場合には、その内容の支援計画への反映	1	2	3	4
オ) モニタリング・評価結果を踏まえた意思決定のさらなる促進のための見直し	1	2	3	4
カ) 決定したことを本人が可能な限り理解できるように伝えること	1	2	3	4
キ) 事業所内での意思決定の支援のための研修	1	2	3	4
ク) その他 ( )	1	2	3	4

問 37 貴事業所では災害時の対策についてどのような取組をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 災害発生時対応マニュアルの作成	2 定期的に避難訓練を実施
3 備蓄品の整備	4 建物の耐震化
5 ロッカー、棚などの転倒防止措置	6 緊急連絡網の作成
7 避難経路の確保	8 避難行動計画の策定
9 感染症・非常災害の業務継続計画（BCP）を策定	
10 その他（ ）	11 特に取り組んでいない

#### 4 連携について

問 38 (1) 地域における住民、団体、ボランティア等との関わりについて、どのようなことを行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(2) また、これから行えることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

項目	(1) 行っていること	(2) これから行えること
ア) 住民向けの勉強会、講演等の開催	1	2
イ) イベントの開催等による地域住民との交流	1	2
ウ) 住民やボランティアと合同での事業の実施	1	2
エ) 住民、学生等のボランティアや実習生の受け入れ	1	2
オ) 地域の会議体への参加によるネットワークづくり	1	2
カ) 車両の空き等を活かした移動支援等の活動	1	2
キ) 事業所内の空きスペースを活用した居場所づくり	1	2
ク) 地域の高齢者等を対象とした昼食会や配食サービス	1	2
ケ) 地域の子育て世帯等に対する相談、子育て講座	1	2
コ) 地域行事への参加	1	2
サ) 住民、ボランティアとの情報交換	1	2
シ) 地域の防災訓練への参加	1	2
ス) 寄付金等の金銭的な支援	1	2
セ) その他（ ）	1	2

問 39 貴事業所では、地域との連携を図るために、どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                                |
|--------------------------------|
| 1 町会・自治会等に参加している               |
| 2 町会・自治会等の総会に参加している            |
| 3 地域のイベントやお祭りに参加している           |
| 4 ボランティアを導入している                |
| 5 事業所や法人単位で、地域向けの勉強会を主催、共催している |
| 6 事業所のお祭りやイベントに地域の方を招待している     |
| 7 地域の町会・自治会等と防災協定を締結している       |
| 8 その他（ ）                       |
| 9 特にない                         |

問 40 事業所の運営にあたり、連携している関係機関・団体はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| 1 福祉サービス提供事業者            | 2 相談支援事業者         |
| 3 介護保険サービス提供事業者          | 4 ボランティア・NPO 団体   |
| 5 民生・児童委員                | 6 教育機関（学校）        |
| 7 江東区社会福祉協議会             | 8 ハローワーク          |
| 9 医療機関                   | 10 警察             |
| 11 長寿サポートセンター            | 12 江東区役所          |
| 13 江東区保健所                | 14 江東児童相談所        |
| 15 東京都リハビリテーション病院        | 16 東京都立精神保健福祉センター |
| 17 東京都発達障害者支援センター（TOSCA） | 18 一般企業           |
| 19 その他（ ）                | 20 特にない           |

問 41 関係機関・団体との連携を強化するために必要なことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 事例検討会を開催する                  |
| 2 情報交換できる協議会を設置する             |
| 3 顔の見える関係づくりを行う               |
| 4 江東区の障害者への取組方針について、共有する機会を持つ |
| 5 インターネット上で連絡・共有ができる仕組みを構築する  |
| 6 個人情報について共有ができる仕組みを構築する      |
| 7 その他（ ）                      |

